

令和7年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用



野崎 正博さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

いざという時を想定して、いろいろと備えをすることが大切でそれがペットへの愛情だなと思い描きました。自分のヘルメットをそっとかぶせようとするところにも飼い主の優しさが表れているようにしました。



荒野 太尊さん（茨城県在住）

◆作品に関するコメント

私は動物看護の学校へ通いながら、防災や動物の健康管理について日々学習しています。命の大切さを伝え、人と動物が安心して暮らせる社会を目指していきたいと思い、ポスターを製作しました。



稲川 摩美さん（京都府在住）

◆作品に関するコメント

ペットの防災意識を高めるために描きました。災害時に人間だけ避難してペットを家に置いてけぼりにされるのをなくしたいです。



永山 陸翔さん（東京都在住）

◆作品に関するコメント

ペットは、かけがえのない家族です。ですが、一部には、ペットと一緒に避難できない避難所もあります。ペットと共に避難できる避難所を事前に把握して、避難所へ行けないうことで死んでしまう動物たちを減らせられればという思いを込めて、このポスターを描きました。



町田 武重さん（長野県在住）

◆作品に関するコメント

災害時、人はヘルメットなどの防災用品を用意、ペットは籠に入れるなど保護して体育館などの避難所へ向かいます。その準備を日頃から行う大切さを多くの方々に知って頂けるよう、日常と避難所での様相の対比でポスターの誘目性があるデザインにしました。



山内 久さん（青森県在住）

◆作品に関するコメント

災害時、飼い主や家族の安全確保とともに、ペットの安全確保も大切です。普段から、避難所や避難ルートを確認しておくこと、また、避難が必要なときは、ペットと一緒に避難（同行避難）したいものです。ペットを災害で亡くすようなことはあってはならないです。できれば、事前にペットとともに避難訓練をしたいものですね。